

愛知県の野鳥糞便から低病原性鳥インフルエンザウイルス(LPAI)が確認されました！！

野鳥糞便でのLPAI検出は国内2例目で、11月以降韓国でも野鳥糞便からのLPAIウイルス（H5、H7亜型）検出事例が急増しており、本病ウイルスの農場への侵入リスクが高まっています。

＜低病原性鳥インフルエンザとは＞

高病原性鳥インフルエンザ(HPAI)以外のH5または、H7亜型のA型インフルエンザウイルス感染による家きんの伝染病。

ほとんど症状を示さないが、HPAIに変異することがあるため、HPAIと同様に殺処分や制限区域設定による蔓延防止、早期撲滅対応を行います。

※今年度のウイルス検出状況

○1例目（千葉）

採取場所：千葉県東金市

血清型：H7N7亜型

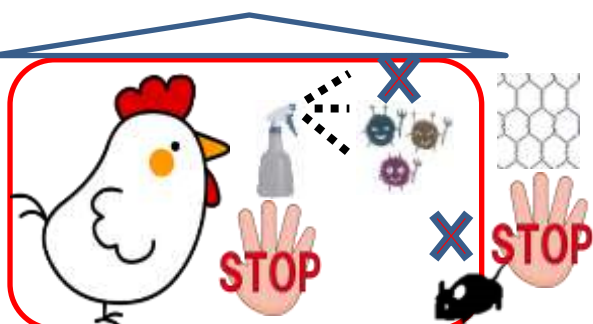
○2例目（愛知）

採取場所：愛知県名古屋市

血清型：H7N9亜型

HPAI・LPAI発生予防対策を徹底してください！！

病原体侵入防止、まん延防止のため、飼養衛生管理基準を厳守してください！



- ✕ 野生動物対策徹底！
- ✕ 鶏舎出入口や周辺消毒徹底！
- ✕ 対策の点検改善！
- ✕ 毎日の健康観察！
- ✕ 早期発見、早期通報！

- ◆ 鳥インフルエンザを疑う症状があれば直ちに当所に連絡
- ◆ 過去21日間の平均死亡率の2倍以上の死亡率を確認した際の通報
- ◆ 農場及び鶏舎入出時の消毒徹底
- ◆ 防鳥ネット等の破損箇所は補修し、野鳥・野生動物侵入防止を再徹底
- ◆ 関係者以外の農場への立入制限（特に海外渡航歴の確認）
- ◆ 家きんの飲用水の塩素消毒（または水道水を給与）の徹底！！

京都府南丹家畜保健衛生所

TEL: 0771-42-3308（夜間・休日も転送機能あり）